

団体名 花の咲く夕日の里づくりの会（周防大島町）

代表者名	木村 庄吉	団体の目的	周防大島町外人地域において、耕作放棄地の再生や景観環境の整備、歴史の掘り起こしによる次世代への継承等により、町内外の多くの人に地域を知ってもらい、地域の将来の発展に寄与する。
構成員数	31人		
設立	2014年(H26年)4月		
問い合わせ先	090-4443-2951（木村）		

事業名 耕作放棄地の活用と、景観・史跡等の再生

事業の目的 ・耕作放棄地の再生や景観整備により、町内外の人を地域に呼び込み、過疎化する地域の活性化を図る。

事業の内容 ・定期整備事業
 開催日：毎月第2水曜日、第3土曜日 場所：磯兼屋敷跡、夕日の丘等
 内容：ホテルの里、アーモンドの丘、県道沿い桜植樹等の草刈り
 ・景観整備事業

開催月	活動内容
4月	夕日の丘の整備、「幸せの鐘」の設置、ニホンミツバチの巣箱製作 シイタケ栽培、アサギマダラ飛来地での植栽
6月	アーモンドの丘にアーモンドの苗木の補植
9月	磯兼屋敷跡及び周辺地、菖蒲園等の整備（～12月まで）
11月	耕作放棄地に菜の花の植栽、桜の植樹 アサギマダラ飛来地での植栽
12月	山田神社拜殿で、民俗学者宮本常一の写真等の展示（～2月まで）
1月	城山登山道の整備、東和中学校の野外教育の登山ガイド協力
2月	往還道及び石積段畑の整備

・アサギマダラ観察月間
 開催日：10月1日～31日 場所：アサギマダラ園 参加者：1,500人
 内容：アサギマダラの鑑賞、飛来コース等の展示、ミニヤギとのふれあい

事業の成果 ・アサギマダラ園や登山道等の整備や幸せの鐘の設置、四季折々の花・樹木の植栽などにより、町内外から多くの観光客が訪れるようになった。

活動現場写真



竹林伐採跡地や耕作放棄地にアーモンド・桜・菜の花等を植栽

アサギマダラ観察月間